特集

広報とね 700 号企画

「広報とね」から分かる利根町の記録

昭和 39 年に創刊された「広報とね」が今月号で 700 号の節目を迎えました。今回は 700 号発行を記念して、広報の視点から、町の歴史を振り返ります。元フェリス女学院大学教授で、産業民俗学を研究されている春木良且先生にご協力いただき、創刊当時の広報とねの記事から、昔の利根町の日常を推察してみます。

2020 年 11 月に開催されたシティプロモーションセミナーでの登壇後も、利根町の戦後の記録に関心を寄せ続けている春木良且先生。今回は、広報とね 700 号を記念し、春木先生に寄稿とインタビューにご協力いただきました。

春木 良且 さん
産業民俗学者
（一社）先端社会科学技術研究所
代表理事
昭和女子大学現代ビジネス研究所
研究員

広報誌の活用に関する提言
「広報とね」を使って利根町の町民史を作ってみませんか？

日本の市町村は、現在1718か所あります。そのほとんどに広報・広聴関係の部門があり、広報誌を中心に様々な媒体で情報発信を行っています。筆者は、多くの広報誌を分析する機会を持ちましたが、それぞれ地域の個性があって中々に興味深いものです。広報誌は、基本的には行政を実施する上での住民への伝達、通達事項から構成されています。

利根町の広報誌「広報とね」は、昭和39年の創刊です。東京オリンピックの年、復興は既に終わり、高度成長期に弾みがかかる時期で、他の自治体広報誌に比べて「歴史のある」わけではありません。淡々とした近郊農村の日々を推察させるような記事が並びます。総体的に農業、米関係に関する記事が毎号上がっており、あらためて利根町は農業の町だったということがわかります。

その中から、昭和40年3月号（11号）の「米の収入くらいは野菜でとろう」を取り上げてみます。「農業経営も大きく変わってまいりました」という最初の一文でわかりますが、米作中心だった利根町の農業も、近郊農業に大きく変換していく時期だということが伺えます。記事には「近郊地帯の農業は、高度なそ菜園芸の振興が必要です」とあり、「生のまま食べることが出来る野菜」、「見た目がきれいでうまさを感じさせる野菜」といった条件が挙げられています。

元々日本には野菜を生食する食文化は存在しませんでした。戦後、食料事情が悪化する中で、進駐軍から食生活の改善の要望があり、昭和30（1955）年には厚生省と農林省が清浄野菜の普及計画を立て、各都道府県知事あてに「清浄野菜普及要綱」を通知しています。昭和30年代後半には、都市部の住民を中心に、食生活も大きく変化してきたようです。記事ではさらに、今後の農業活動として、①大量の継続出荷、②品質の統一、さらに⑤強力な宣伝、などが挙げられており、明らかに農業の近代化、生産性の向上という課題が出てきていることが伺えます。

これら一連の記事を読んでみると、この年は、農業そのものが、法制的な側面を含めて、大きく変化しつつあったことが分かります。都市部の消費者と食生活の変化に合わせた、農業、一次産業の生産性の課題は、その後も残り続けていきます。

しかしあらためて記事にあるキャベツの出荷風景の写真を見ると、女性の笑顔と、そばにいる犬の様子が何とも微笑ましい、いい写真です。この時代は、まだまだ農業が元気だった様子が分かりますし、何より人々が若かったということです。広報誌には、こうした市民の姿を直接記録した貴重な写真もたくさん含まれています。

自治体の広報誌は、行政関連資料であり公文書ではありません。ですので保存に関する規定はなく、大量に印刷されるため、比較的蔑ろに扱われています。しかし市民への広報という性格上、市井の人々に関わるような政策、出来事などが、淡々と記録されていきます。これほど価値のある、地域の記録はありません。町誌「利根町史」は、町の貴重な史料ですが、発行は昭和54（1979）年3月です。既にそこから40年も経っており、新たな時代に向け、町民史を作ってみるのも重要なことでしょう。「広報とね」は、そのための貴重な柱になると考えています。

1 昭和 40 年 3 月号の「米の収入くらいは野菜でとろう」という記事。キャベツの出荷風景の写真から農業が元気だった様子が分かる 2 昭和 40 年 11 月号の『給食のこと・みんなでつくったさくぶん」という記事。「献立などを見ると、パン食で、都市部で給食を食べた経験のある立場からは、若干意外です。米の町でも、パン食だったのですね」

いい町 利根町 あなた待ち
TONE
広報とね 2022 年 7 月号

～利根町百景～

役場庁舎前の坂道にきれいに咲く花。

去年から、利根町ネットワーカー協議会の皆さんが整備している花壇の花です。マリーゴールドやペチュニアなど、色とりどりの花がバランス良く植えられています。

この日は、草取りや花摘み、水やりなどが行われていました。月一回の定例の活動日以外にも、様子を見ながらこまめに手入れを行っているそうです。

先日、花の植え替えが行われ、次の花はどんな種類かと、ワクワクして待っていました。「花は心の栄養」と言われるように、きれいな花壇を見ると心がパッと華やぎます。

利根町役場庁舎前の花壇
利根町布川８４１－１
P あり
☎０２９７－６８－２２１１

情報をお寄せください‼
広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介するコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。
【応募方法】
写真および紹介文（250 文字程度）をメールで下記まで送付してください。
総務課秘書広聴係 ✉ kouhou@town.tone.lg.jp

今月の表紙

表紙の写真は、創刊当時から 58 年続く広報とねの一部です。今月号で 700 号を迎える広報とねについて、記事から浮かび上がる町の記録や、広報の変遷について特集していますので、ぜひご覧ください。

もくじ -contents-

広報とね　2022 年 7 月号

2 利根町百景／もくじ
3 特集　広報とね 700 号企画 「広報とね」から分かる利根町の記録
7 まちの話題　PHOTO NEWS
8 Pick UP ！
10 利根小学校通信
11 暮らしの情報欄
17 ぼうさい掲示板
18 参議院議員通常選挙
20 お知らせ　-TONE Information-
26 日本ウェルネススポーツ大学通信 フリフリグッパー体操／とねワイワイくらぶ
28 SDGs 世界を変えるための 17 の目標
30 保健福祉センターだより／健康レシピ
32 こんにちは ‼ とね子育て支援センターです わが家のアイドル写真館
33 図書館へ行こう
34 とねまちプレイバック

UD FONT
「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）」を使用しています。